

## 大阪大学経営協議会（平成26年度 第2回）議事要旨

日 時 平成26年9月24日（水）14時00分～16時00分

場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1・2

出席者 平野総長（議長）

相澤、上山、川島、小林、佐藤、角、手代木、友野、南部、野路、渡辺  
恵比須、東島、馬場、相本、大竹、大木、岡村、竹中、掛下、金田、八木、金倉  
各委員

欠席者 井上、岡本、尾崎 各委員

議事に先立ち、会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。  
続いて、前回（6月19日開催）の議事要旨については、既に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

### 議 事

#### 【議事】

#### 1 運営組織構成員等について

平野議長から、新たに10月1日付けで副学長を2名、理事補佐を1名指名することの報告があった。

#### 2 平成27年度概算要求事項について

恵比須委員から、配付資料に基づき、文部科学省から財務省に提出された旨内示のあった平成27年度概算要求事項について報告があった。

#### 3 大学に対する出資事業について

馬場委員から、配付資料に基づき、産業競争力強化法に基づく「特定研究成果活用支援事業計画」の認定を受けたこと及び今後のスケジュールについて報告があった。

#### 4 重要財産（建物）の処分について

大竹委員から、配付資料に基づき、バイオ関連多目的研究施設の建物の処分について、オープンラボ利用者である（独）理化学研究所に無償譲渡することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

## 5 教職員の給与等について

大木委員から、配付資料に基づき、大阪府の最低賃金額が838円に引き上げられることに伴い、コンプライアンスの観点から本学の一般職時間給表（二）C3ランクの時間給を最低賃金まで引き上げるについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

### 【意見交換】

#### 1 「適塾」から「世界適塾」へ ～2031年世界トップ10を目指して～

事前に送付した、前回の経営協議会（6月19日開催）の意見交換資料の概要版と、「国立大学改革」に関する資料の内容を含めて、各委員から大阪大学に対する提言や感想を賜った。特に、学外委員から次のような意見があった。

#### （ご意見）

- ・ 特色ある大学となるために、どのような大学にするのか目標・方向性をしっかりと決めるべきである。
- ・ 企業が人材を大学に派遣すれば、派遣された者が異分野の研究者の中で揉まれて人材育成につながるような学際的な環境を整えてほしい。
- ・ 意見交換資料の中で、「大阪大学の志」として『「適塾」から「世界適塾」へ』と記載しているが、「志」は、大阪大学がどのような人材を育成し、どのように社会に貢献するのかをポイントにわかりやすく記載するべきである。また、「世界トップ10」は結果としてついてくるものであり、目標にすべきことではないのではないのか。
- ・ 経営人材と学問人材は異なる。体系的に教育すべき人材を決め、継続性をもって育成することで大学の差別化が図れる。
- ・ 学長が、明確な情報のもとで決定の判断を下すことができるよう、学内リソースを把握するシステムを整備することが必要である。
- ・ 従来は、大学における研究成果を産業化することが社会貢献と考えられてきたが、これからは、産業界の人材を大学で育成することも社会貢献であり、それが大学の人材育成にもつながると考えられるので、大学はもっと産業界と交流を持つべきである。
- ・ 今後の目標は、産業界・経済界の要望を組み入れながら、人事面・予算面ともに実現可能性に基づいた数字に落とし込んだ10年計画を策定すべきである。
- ・ 経営ビジョンについて、学内での共通理解を確立し、気運を盛り上げ、志の教育を行ってほしい。
- ・ 経営人材の育成という観点から、事務・管理スタッフの能力向上が重要である。
- ・ 「評価」は、評価機関、評価項目、評価基準が定められているが、大学が評価を上げるために、評価基準に合わせにいくと、大学の個性が失われる。

- ・ 関西・東アジアの中での役割・競争力を明確化し、東大・京大との差別化を図るべきである。関西経済圏と大阪大学の競争力は連動するので、実業界と大学の win-win な関係を形成するべきである。

#### 【その他】

##### 1 平成25事業年度 財務諸表について

平野議長から、前回の経営協議会（6月19日開催）にて審議した「平成25事業年度財務諸表」の詳細版で、文部科学大臣へ提出したものを参考に配付している旨の報告があった。

##### 2 次回経営協議会の開催予定について

平成26年度第3回の本協議会について、平成26年11月26日に開催することとした。

(以 上)